

2019年度 筑波大学 前期理系 第3問

問題 四面体 OABC について, $OA = OB = OC$ および $\angle AOB = \angle BOC = \angle COA = \theta$ が成り立つとする。

$0 < s < 1$, $0 < t < 1$ を満たす実数 s , t に対し, 辺 OA を $s : 1 - s$ に内分する点を D とし, 辺 OB を $t : 1 - t$ に内分する点を E とする。 $\vec{AF} = \vec{BG} = \vec{OC}$ となる点 F , G をとり, 線分 EF と線分 DG が 1 点で交わるとし, その交点を P とする。 $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$, $\vec{OC} = \vec{c}$, $\angle AOB = \theta$ とするとき, 以下の問いに答えよ。

(1) $t = s$ であることを示し, \vec{OP} を s , \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} を用いて表せ。

(2) $\vec{EF} \perp \vec{DG}$ であるとき, $\cos \theta$ を s を用いて表せ。

(3) $\vec{EF} \perp \vec{DG}$ かつ $\sqrt{3}OP = OA$ であるとき, s の値を求めよ。

N_tsukuba2019A_03.pbm